



# 東北公益文科大学

Tohoku University of Community Service and Science

## インクルージョン社会をめざした大学づくり — 特別なニーズをもつ学生への「共育」支援を通して —

### ● 大学概要

東北公益文科大学は、日本初の「公益学」の創造と実践に基づく教育研究を掲げ、平成13年4月、山形県庄内地域に開学しました。山形県および地元14市町村(当時)の財政支援により、キャンパスや施設を整備し、その後学校法人により運営するという「公設民営方式」の大学です。

### ● 「公益学」の教育研究

「公益学」は、人間・自然・地域が尊重される持続可能な地球社会の実現をめざし、既存諸科学の成果・方法を援用して学際的に実証研究を積み上げ、一個人や一組織の利益を超えた「公益」・非営利の活動に関する理論、方法論の構築をめざす学問実践です。学生たちは社会貢献等の理論と方法を学びます。

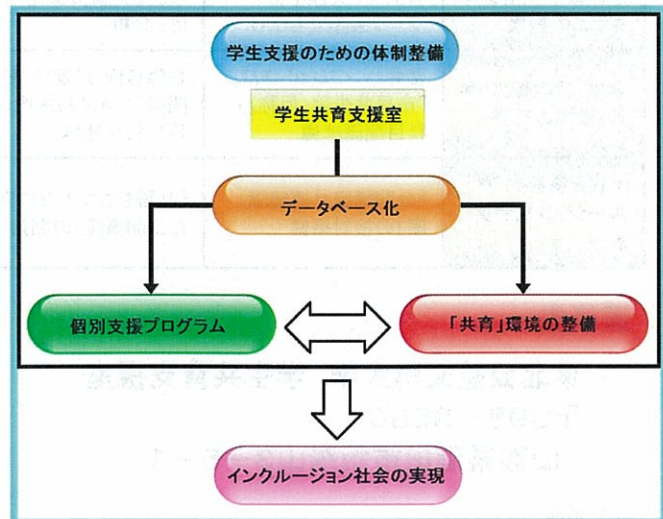
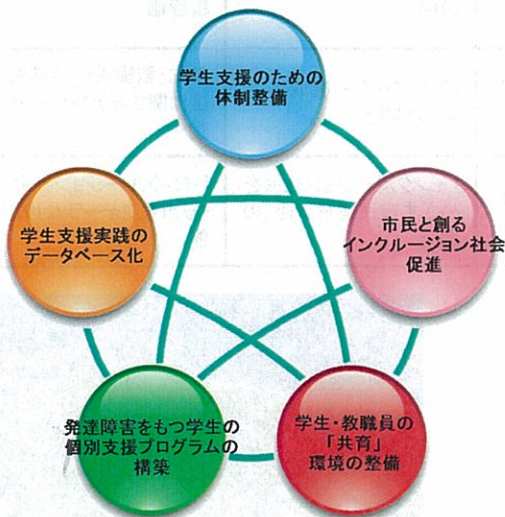


資料の閲覧対面

### ● 地域に開かれ、地域と密接に連携した大学

門も塀もないキャンパス、バリアフリーの施設整備(平成14年度山形県福祉のまちづくり大賞受賞)、図書館やカフェテリアの一般利用、各種講座等の市民への開放等を通して、地域に開かれた大学を実現しています。開学当初から「大学まちづくり」を理念に掲げ、大学教職員・学生と自治体や各種団体・NPO等、市民との協働・共創の取組が多種多様に展開されていることが特徴です。

### ● 新たな取組みの5つの柱



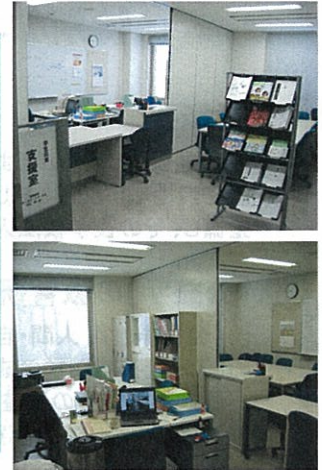
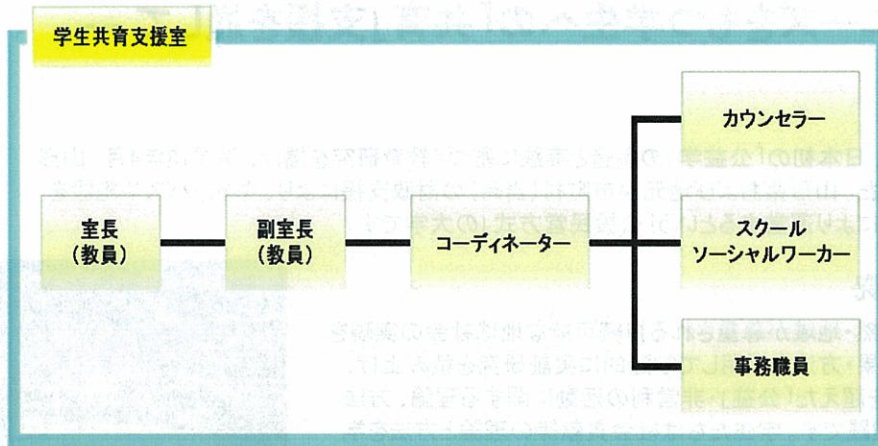




# 東北公益文科大学

Tohoku University of Community Service and Science

## ● 支援室体制図



## ● 年次計画

項目	平成19年度(1年次)	平成20年度(2年次)	平成21年度(3年次)	平成22年度(4年次)
学生支援のための体制整備	「学生共育支援室」の立ち上げ、学内支援組織体制の整備、他大学の調査の開始	支援実践プロセスの標準化	支援実践の高度化・専門化	支援室及び学内支援体制の見直しと改善策検討
学生支援実践のデータベース化	UPI実績の整理、データベース化準備	UPI及び支援実践のデータベース化	UPI及び支援実践のデータベース化	支援実践の評価
発達障害をもつ学生の個別支援プログラムの構築	「個別支援プログラム」の開発、支援ネットワーク会議立ち上げ	「個別支援プログラム」による支援の実施・評価、分析	「就労支援プログラム」の開発	各プログラムの総括と分析評価
学生・教職員の「共育」環境の整備	啓発パンフレット作成、「市民共生論(仮称)」科目開講準備	教職員向け「連続講座」開始、「市民共生論(仮称)」科目開講	「地域リーダー養成事業」の開始	学生・教職員への学生支援に関するアンケート調査
市民と創るインクルージョン社会促進	「公開講座」「連続講座」の検討準備	「障害をもつ人々に向けた公開講座」の開始	「インクルージョン社会をめざす市民連続講座」の開始	「インクルージョン社会づくり市民フォーラム」の開催

## ● 連絡先

東北公益文科大学 学生共育支援室  
〒998-8580  
山形県酒田市飯森山3-5-1

✉ E-mail : [gaku\\_gp@koeki-u.ac.jp](mailto:gaku_gp@koeki-u.ac.jp)  
☎ TEL : 0234-41-1120  
FAX : 0234-41-1121

